

厚生労働大臣が定める掲示事項

1. 当院は厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

2. 指定一覧

保険医療機関
救急告示医療機関
病院群輪番制参加医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
被爆者一般疾病医療機関
難病の患者に対する指定医療機関

3. 入院基本料に関する事項

3.4病棟（急性期病院B一般入院料）では、入院患者10人に対し1人以上の看護師を配置しています。
2病棟（地域包括ケア病棟入院料1）では、入院患者13人に対し1人以上の看護師を配置しています。
詳細な看護配置は以下の通りです。

3.4病棟

1日に勤務する看護要員数		時間	看護要員1人あたりの担当患者数
看護師	15人以上	8時30分～17時30分	5人以内
		17時30分～8時30分	12人以内
看護補助者	3人以上	8時30分～17時30分	12人以内

2病棟

1日に勤務する看護要員数		時間	看護要員1人あたりの担当患者数
看護師	15人以上	8時30分～17時30分	6人以内
		17時30分～8時30分	17人以内
看護補助者	6人以上	8時30分～17時30分	9人以内

4. DPC対象病院について

当院は、入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせるDPC対象病院です。

医療機関別係数：1.4261

(基礎係数:1.0583 + 機能評価係数Ⅰ:0.2899 + 機能評価係数Ⅱ:0.0695 + 救急補正係数:0.0084)

5. 保険外併用療養費と保険外負担に関する事項

180日を超える入院について

同じ傷病名で入院期間が長期になる場合は、180日を超える日から、保険診療とは別に以下の金額を負担していただきます。ただし、難病や重症の患者さんにつきましてはこの負担はありません。

2病棟（地域包括ケア病棟）	1,166円（1日につき・税込）
3・4病棟（急性期病院B一般入院料）	2,706円（1日につき・税込）

腫瘍マーカーについて

保険診療の制限（回数・項目数）を超えて患者さんの希望により検査を実施する場合、以下の料金が発生します。

α-フェトプロテイン（AFP）	1,155円
癌胎児性抗原（CEA）	1,177円

長期収載品の処方について

後発医薬品（ジェネリック）があるお薬で、患者さんの希望により先発医薬品を処方する場合、先発品と後発品の価格差の2分の1相当（+消費税）が発生します。ただし、医師が医療上必要と判断した場合や、後発品の在庫がない場合は除きます。

病衣・おむつの料金について

品名	単位	料金（税込）
入院セットA（病衣）	1日につき	495円
おむつプラン1（入院セットA申込者に限る）	1日につき	605円
おむつプラン2（入院セットA申込者に限る）	1日につき	440円

紙おむつ、病衣、タオル類のご利用を希望される場合、利用者の方と『株式会社リンクウイズ』との直接契約において、上記の通り1日単位でご利用できます。

証明書、診断書等の文書料金について

種別	料金（税込）
診断書・医証	4,400円
診断書・医証（英語版）	13,200円
特殊診断書（生命保険・裁判・身体障害・各種年金等複雑なもの）	8,800円
死亡診断書	8,800円
領収証明書	1,100円

6. 入院食事療養費に関する事項

当院は、入院時食事療養(Ⅰ)の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時(朝食:8時頃 昼食:12時頃 夕食:18時以降)適温で提供しています。尚、入院食事療養費の標準負担額は以下の通りとなっております。

所得区分		入院食事療養費 標準負担額
70歳未満	70歳以上	
区分ア	現役並みⅢ	1食 550円
区分イ	現役並みⅡ	
区分ウ	現役並みⅠ	
区分エ	一般	
区分オ	低所得Ⅱ	1食 270円
	低所得Ⅰ	1食 130円

7. 医療DX・情報活用・明細書について

診療情報の活用

オンライン資格確認や居宅同意取得型システムを通じ、患者様の診療・薬剤情報を取得・活用して質の高い医療を提供しています。

マイナ保険証の促進

医療DXを通じて、よりスムーズで正確な情報連携を行うため、マイナ保険証の利用を促進しています。

明細書の発行

当院を受診された全ての患者さん(公費負担医療等により医療費の自己負担がない方を含まず)へ個別の診療報酬の算定項目が記載された詳細な明細書を無料で発行しています。

明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されます。明細書の発行を希望されない場合は、会計窓口にてその旨お申し出ください。

8. お薬の処方と供給体制について

ジェネリック医薬品と一般名処方

当院ではジェネリック(後発医薬品)を積極的に採用し、成分名で処方する「一般名処方」を行っています。患者さんの希望で先発医薬品を処方する場合は「特別の料金(選定療養)」の負担が発生することがあります。

医薬品の安定供給

医薬品の供給が不足した場合、医薬品の処方等の変更等に関して適切な対応ができる体制を整えております。なお、医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更となる可能性がございますが、その際は患者さんへ十分に説明を行います。

長期処方・リフィル処方箋

患者さんの状態に応じ、28日以上長期処方やリフィル処方箋の交付が可能です。

※対応の可否は医師が判断します。

9. 医療安全対策について

当院では、医療事故の発生を未然に防ぎ、患者さんが安心して安全な医療を受けられる環境を整えることを目的として、医療安全管理部門を設置しております。

10. 感染防止対策について

院内感染防止対策は、良質で適切な医療提供の基盤となるものです。当院は、院内感染防止対策を病院全体として取り組み、院内におけるすべての患者さんを対象として、感染発生の予防と発生時の速やかな対応を行うよう取り組んでいます。

11. 病院敷地内禁煙について

当院では、屋内外を問わず「病院敷地内全面禁煙」となっております。また当院は、禁煙をしようとしている方、禁煙をしようとしてもなかなかやめることができない等のお悩みの方に対し、禁煙のお手伝いができるよう、禁煙外来を設けております。

12. 院内トリアージについて

当院では、救急外来を受診される患者さんに対し院内トリアージ（患者さんの症状や状態を診察前に看護師が確認して、症状の重要度及び緊急性に準じて診察の優先順位を決めるもの）を実施しております。患者さんによっては受付の順番と診察の順番が前後する可能性がありますので、予めご了承ください。

13. 栄養サポートチームについて

当院では、栄養状態の悪い患者さんに対して、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など、様々な職種のメンバーにより適切な栄養管理を行い、全身状態の改善に取り組んでいます。

14. 術後疼痛管理チームについて

当院では、術後の疼痛の軽減やQOLの向上等を目的として、持続して手術後の疼痛管理を要する手術の患者さんを対象に麻酔医・看護師・薬剤師で構成される術後疼痛管理チームが術後疼痛管理実施計画を作成し、計画に基づく診療等を行っています。

15. 介護施設等との連携体制について

当院は、以下の協力施設において療養中の方の病状が急変した場合、施設の医師等からの要請に基づき、24時間体制で診療・入院の受入を行っています。

また、平時より施設側とカンファレンスを行い、急変時の対応方針等を共有しています。

- 介護老人保健施設 木の葉の里
- 介護老人保健施設 老健センターささおか

16. 入退院支援について

当院では、患者さんが安心して治療を受け、また社会復帰できるように、社会福祉士・退院調整看護師が退院のお手伝いをさせていただきます。

17. 面会に関する方針

入院中のご家族等との面会は、患者さんの療養生活の質の向上、そして円滑な退院支援を行う上で非常に重要であると考えております。

感染症の流行や病院内での集団感染発生など、正当な理由がある場合に限り必要最小限の範囲で面会を制限することがありますが、感染対策等などの正当な理由がない限り、ご家族等による面会を制限することはありません。また、面会に関するルールは、社会情勢や感染状況を鑑み、定期的に見直しを行っております。

面会時間	平日・土曜日	13:00~20:00	日祝日	10:00~20:00
------	--------	-------------	-----	-------------

18. 身体的拘束について

身体的拘束は、患者さんの自由を制限することであり、尊厳ある生活を阻むものです。当院では、患者さんの権利の尊重やQOLの向上を念頭に置き、拘束を正当化することなく、職員一人一人が拘束による身体的・精神的弊害の理解に努めます。その上で、拘束廃止に向けた意識を持ち、緊急をやむを得ない場合を除き身体的拘束をしない診療・看護に努めます。身体的拘束実施率の推移は以下の通りです。

算出年月	2026年3月	2026年4月	2026年5月
実施率（直近3ヶ月平均）	0.73%	0.55%	0.07%

19. 外来腫瘍化学療法診療料1について

当院では、化学療法に携わる医師、看護師、薬剤師等で構成される委員会において、実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を定期的を開催しており、緊急時、外来化学療法を実施している患者さんが受診・入院できる体制を確保しています。

また、医師、看護師または薬剤師が院内に常時1人以上配置し、外来化学療法を実施している患者さんからの電話等による緊急の相談等に24時間対応できる体制を整備しています。

20. 負担軽減および処遇改善について

当院では、医師や看護師を含む医療従事者の負担軽減および処遇改善に関するさまざまな取り組みを行っております。取り組み内容の詳細は院内掲示をご参照ください。

21. 臨床研修について

当院は、厚生労働省指定の臨床研修病院（協力型）です。指導医の指示・監督のもと、初期研修医が外来・病棟等で診療を行っております。また、看護師や薬剤師など、様々な職種の実習生を受け入れている施設でもあります。日本の未来を担う医療職を要請するために、皆さまご理解とご協力をお願いいたします。

22. 個人情報について

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責任と考えております。個人情報保護に関する方針を定め、職員および関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

23. データ外部保管について

当院では、患者さんの医療画像やレポート情報を災害による紛失から防ぐため、院外のデータセンターで安全に保管しています。

24. 診療情報開示について

当院では、患者さんと信頼関係で結ばれた医療を行うことを目指し、患者さんと共同して病気の治療に努めることを目的として、患者さんの要望に応じて、診療録等を閲覧できる体制をとっております。

25. 昨年の実績について

医科点数表第2章第10部手術の通則5および6に掲げる手術の実績（令和7年1月～令和7年3月）

区分	手術名	件数
1	ア 頭蓋内腫瘍摘出術等	0
	イ 黄斑下手術等	0
	ウ 鼓室形成手術等	0
	エ 肺悪性腫瘍手術等	1
	オ 経皮的カテーテル心筋焼灼等	0
2	ア 靭帯断裂形成手術等	27
	イ 水頭症手術等	0
	ウ 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	0
	エ 尿道形成手術等	0
	オ 角膜移植術	0
	カ 肝切除術等	2
	キ 子宮附属器悪性腫瘍手術等	0
3	ア 上顎骨形成術等	0
	イ 上顎骨悪性腫瘍等手術等	0
	ウ バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0
	エ 母指化手術等	0
	オ 内反足手術等	0
	カ 食道切除再建術等	0
	キ 同種死体腎移植術等	0
4	胸腔鏡下・腹腔鏡下手術等	880
その他	人工関節置換術	62
	乳児外科施設基準対象手術	0
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	0
	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び対外循環を要する手術	0
	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	0
	経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	0
	経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	0
	経皮的冠動脈粥腫切除術	0
	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	0
	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	0
経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	0	

大腿骨近位部骨折後48時間以内に手術をした年間実績（令和7年1月～令和7年3月）

15件